

ストーリー7

地域経済活性化を目的とした地域通貨導入サポート

4.産業育成、イノベーション支援

社会課題

地場産業の売上減少・廃業、
地域経済の衰退、市外への資金流出



■取り組み概要

- ✓ 地場産業・地域経済の活性化をめざし、地域密着姿勢から生まれた商工会議所との信頼関係を基盤とした取り組み
- ✓ 地域通貨の導入にあたり、地域決済通貨のチャージ残高を銀行で保証・保全し、当行にて管理口座を提供
- ✓ 預金・与信・決済を一括で支援する枠組みを構築し、公共セクター向けの新たなビジネスモデルを確立



考 M
え U
た F
た G
こ ー
と ぐ

府中市の課題を目の当たりにし、地域密着の支店として何か打ち手はないかと模索していた

当行において商工会議所への与信は前例がなく、今回の取り組みが地域経済の停滞に悩む地公体に対する新たな金融ソリューションになると考えていた。預金・与信・決済を一括で支援できるパッケージ化の可能性に着目し、今後の横展開も意識

地域通貨発行の検討がなされる中、商工会議所との深い関係性を活かし、ファーストコールバンクとして相談を受け、地域通貨の発行と運用支援に貢献

チャージ残高の保全・支払い承諾・管理口座の提供など、銀行として包括的な支援を実施

地公体の預金・与信・決済を一括でサポートするパッケージモデルを構築し、地域内経済循環の仕組みづくりに貢献



実 M
現 U
す F
る G
こ ー
と ぐ

■ 地域経済の活性化への貢献、預金・与信・決済を一括で支援する枠組みを構築

- ・ 府中市ではチェーン店の進出が駅前を中心に続く中、地元根付く飲食店、小売店の倒産・廃業が相次いでいる。府中市外に流出している消費額も大きく、これを地域内に循環させ地域経済を立て直す必要があった
- ・ 歴代府中支店長が金融理財部会長を務めている商工会議所が中心となり地域通貨発行を検討。府中市独自の地域通貨の発行にあたり、払出にかかる銀行保証の差入および入出金口座の設定、インターネットバンキング導入のサポートを実施
- ・ 日頃より「地域貢献」を拠点方針として地域に根差した活動を実施していたこともあり当行一行支援が実現。地域通貨発行に関する当行支援は数少ない（商工会議所への与信提供は当行初の取り組み）中、与信面・スキーム面にかかる一連のサポートを実施
- ・ まずは商工会議所に所属する500超の店舗での利用が見込まれ、今後拡大していく予定

■ MUFGがめざす価値創造



施策・取り組み

- ✓ 地域経済活性化を目的とした地域通貨導入サポート
 - 地域通貨導入に必要な金融サービスを一貫して提供

短～中期

- ✓ 地域通貨のスムーズな運用の実現
- ✓ 利用者拡大、府中市内で資金が循環
- ✓ 資金の市外流出抑制、地場産業の経営改善

長期

- ✓ 地場産業の衰退に歯止め、地域経済の活性化

社会的インパクト・達成したい状況

■担い手は語る

Q どのような想いで本取り組みを行いましたか？

A 社会課題の解決とビジネスの両立をめざし、府中支店の地域密着の強みを活かして、公共セクターへの新たなアプローチを模索していました。
前例のない取り組みに挑戦することを面白いと感じ、また、自分が関わった仕組みが地域で使われているのを実感することは、自身の大きなモチベーションに繋がりました。

Q 今後取り組んでいきたいことはありますか？

A 引き続き、府中支店として、地域に根差した活動に力を入れていきたいと考えています。
同時に、今回の取り組みを全行的に展開し、他の商工会議所や公共セクターにも広げていきたいと考えています。
今後の展開ではチャージ機能までパッケージ化できるとよりスムーズな支援になると思います。
今後も社会課題の解決と自社ビジネスの拡大を両立できるスキームを確立していきたいです。



府中支店の社員



丸山さん